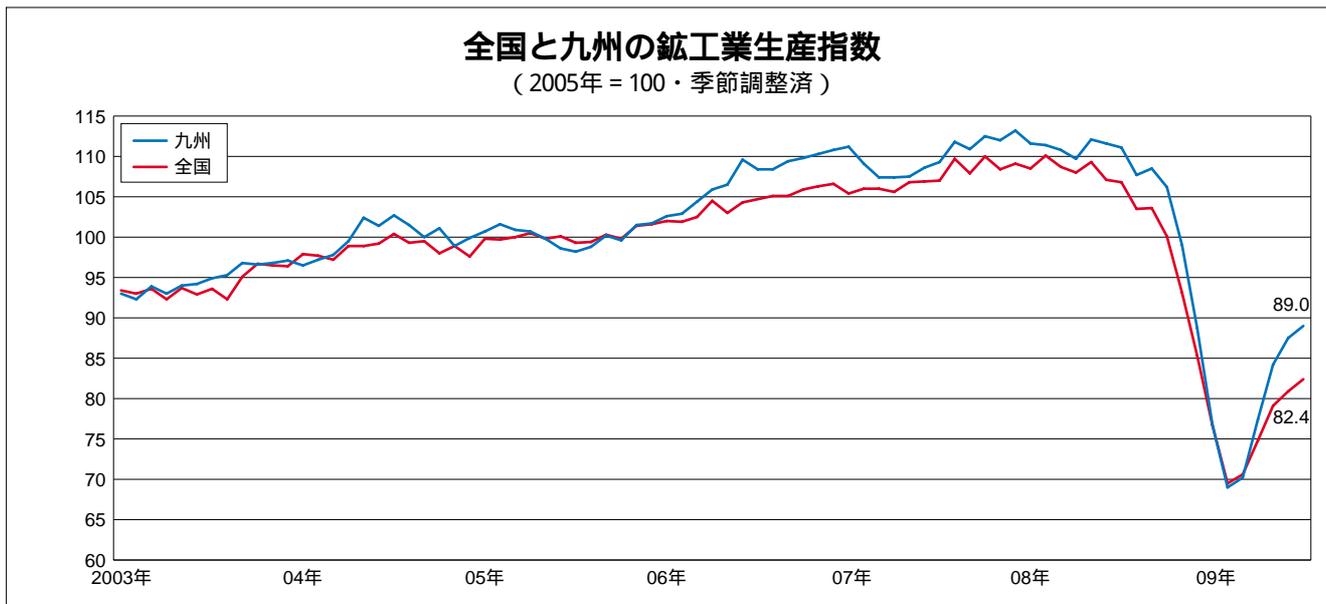


九州の鉱工業生産動向

[基調判断]在庫調整が進展しており、持ち直しで推移している

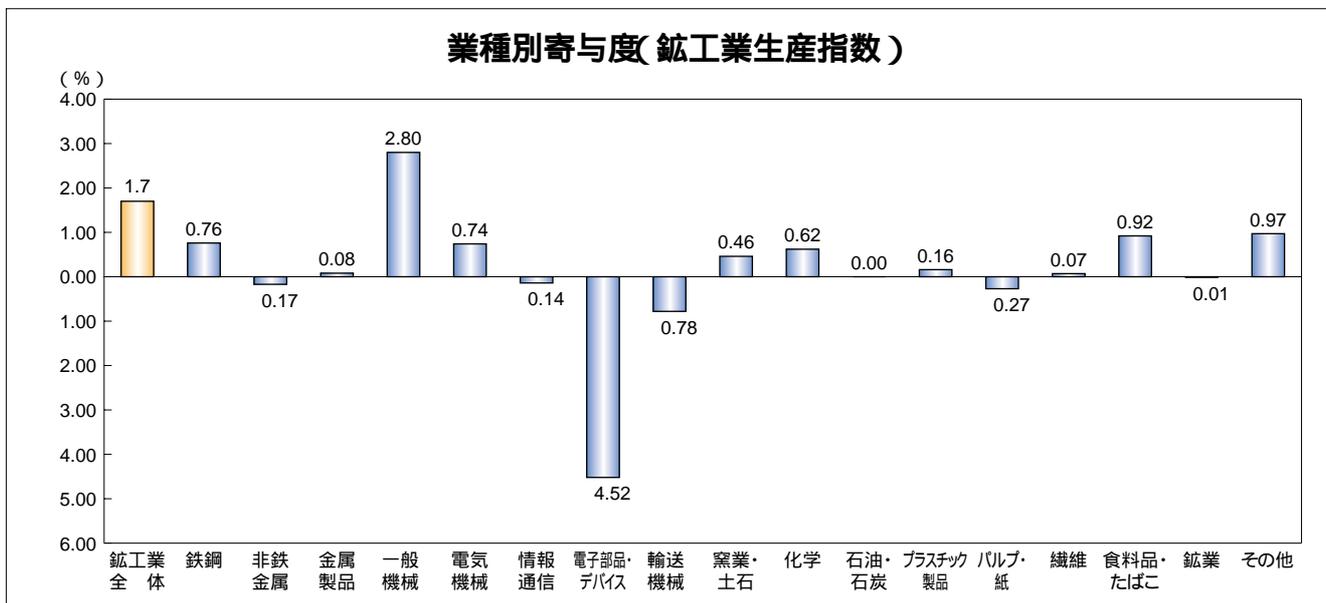
2009年7月の九州地区の鉱工業生産指数(季節調整済)は、在庫調整などが進展しており、前月比1.7%上昇し5ヵ月連続で前月実績を上回りました。九州地区の生産には全国を上回る勢いで持ち直しの動きがみられます。



(出所)九州経済産業局

[業種別動向]一般機械工業、食料品・たばこ工業、鉄鋼業などが上昇

鉱工業生産指数の前月比1.7%上昇について、業種別に寄与度を見ると、電子部品・デバイス、輸送機械などでマイナスになったものの、半導体製造装置やビール・清涼飲料の需要が堅調だったことなどから、一般機械、食料品・たばこなど全17業種中10業種でプラスとなりました。



(出所)九州経済産業局

福岡県の最近の経済動向

[福岡県の景気].....生産活動では、持ち直しの動き

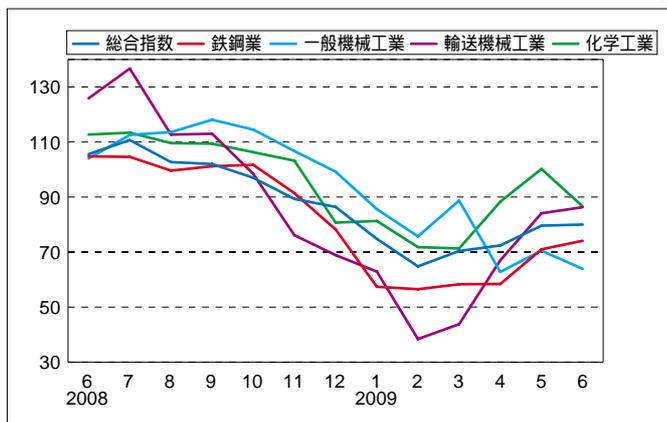
福岡県の景気は、厳しい情勢にあるものの、回復の兆しが出てきています。

生産活動は、多くの業種で持ち直しの動きが見られ、総合指数は4ヵ月連続で上昇しました。また、企業倒産も件数、負債総額ともに減少しました。

しかしながら消費は依然として生活防衛意識が強く、大型小売店販売額は前年を下回っています。また、住宅投資や公共投資でも前年を下回りました。

[生産活動].....総合指数は4ヵ月連続で上昇

福岡県の鉱工業生産指数の推移(季節調整済)(2005年=100)



(出所)福岡県

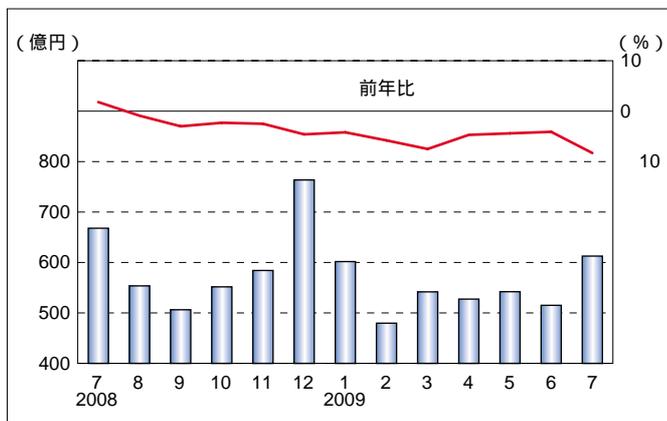
6月の鉱工業生産指数(季節調整済)の動きを見ると、基幹産業である自動車や鉄鋼などで減産幅を緩和したことなどの影響で、総合指数は80.0と、前月比0.4ポイント上昇しました。

総合指数の上昇は4ヵ月連続となり、生産活動は持ち直しているといえます。

主要業種では、鉄鋼は前月比4.4%、輸送機械は前月比2.6%上昇しましたが、一般機械は前月比9.4%、化学は前月比13.6%と減少しました。

[大型小売店].....百貨店、スーパーともに前年割れ

福岡県の大型小売店販売額



(出所)九州経済産業局

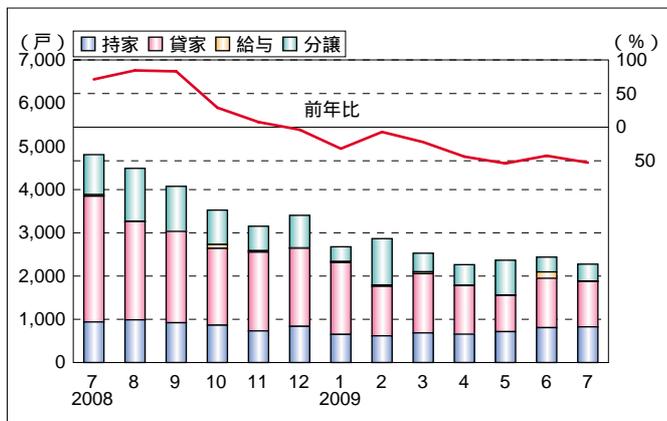
百貨店では、夏のバーゲンセールが不調だったことや、セールの前倒しによる反動減もあり、衣料品などを中心に販売額が落ち込んでいます。さらに、豪雨や長雨など天候不順が追い打ちをかけた格好になり、前年同月比14.0%減と大幅な減少となりました。

またスーパーでも、消費者の節約志向が継続し、商品単価が下落傾向にあることなどから、前年比2.5%減少しました。

トータルでは前年比8.3%減の613億円となり、依然として消費者の生活防衛意識が強いといえます。

[住宅建設] 貸家・分譲の減少が著しく 8 ヶ月連続の前年割れ

福岡県の新設住宅着工戸数



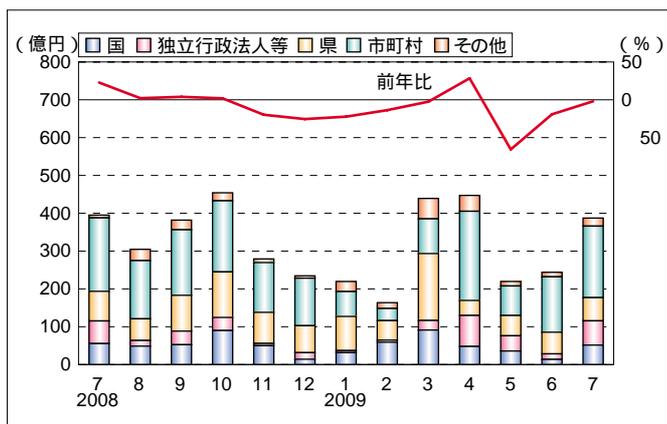
(出所)国土交通省

7月の新設住宅着工戸数は、持家で前年比12.0%減の826戸、貸家で同63.9%減の1,050戸、分譲で同57.1%減の397戸となり、全体では同52.7%減の2,276戸となりました。

前年同月と比較すると貸家・分譲の着工が著しく減少しています。所得環境の悪化で不動産購入意欲が低下していることや、在庫処分を優先させる業者の動向が影響しているためと考えられます。

[公共工事] 件数は増加、請負金額は減少

福岡県の公共工事請負高



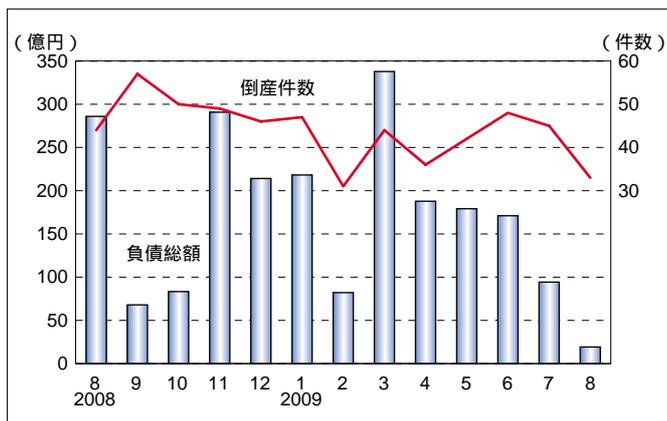
(出所)西日本建設業保証

7月の公共工事保証請負状況(保証ベース)は、件数が前年同月比11.9%増の895件、金額が同2.0%減の387億円と、件数は増加したものの、請負金額は前年を下回りました。

発注者別では「国」「都道府県」「市町村」などで、前年同月比を下回りましたが、北九州PCB廃棄物処理施設の大規模工事の発注があったため、「独立行政法人等」で前年同月比7.1%増となりました。

[企業倒産] 倒産件数、負債総額ともに減少

福岡県の倒産状況



(出所)東京商工リサーチ

8月の福岡県の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数は前年比25%減少の33件、負債総額は同93.3%減の19億円でした。中小企業の資金繰りを支援する緊急保証制度が機能しているといえます。

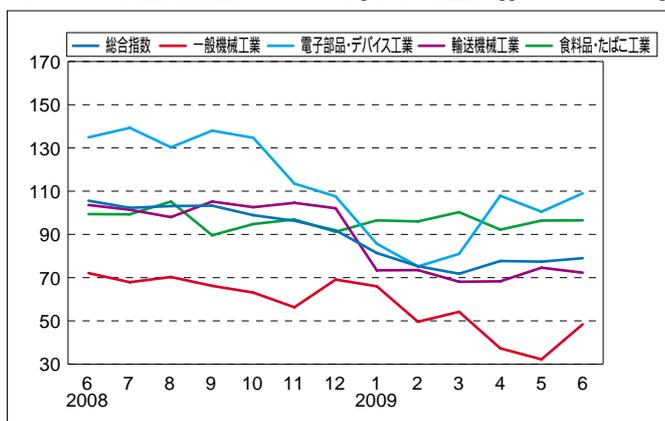
熊本県の最近の経済動向

[熊本県の景気].....生産活動に回復の動きがみられる

生産面では、電子部品・デバイスや一般機械などが上昇し、総合指数は前月比増加しました。所得環境の悪化などにより個人消費や住宅建設全体は低調な状態が続いていますが、貸家は前月比で増加の動きをみせるなど明るい材料もみられます。公共工事が増加して景気を下支えするなか、企業倒産は低水準で推移しています。

[生産活動].....電子部品・デバイスや一般機械などの増産により、総合指数は上昇

熊本県の鉱工業生産指数の推移(季節調整済)(2005年=100)



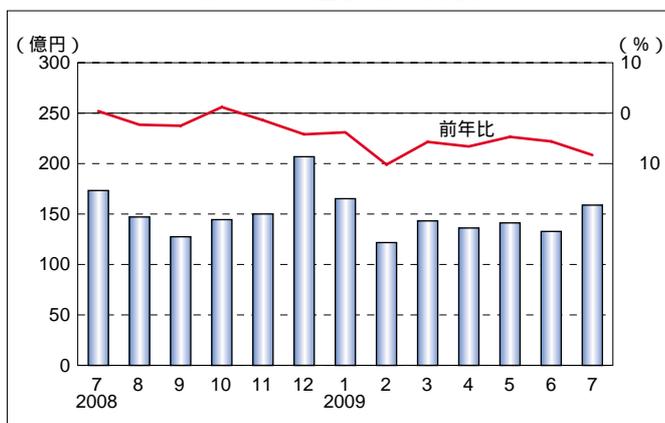
(出所)熊本県

6月の鉱工業生産指数(季節調整済)の動きを見ると、総合指数は79.0と前月比2.1%上昇しました。

二輪車の生産減少により輸送機械は低下したものの、集積回路の増産により電子部品・デバイスや、一般機械が上昇したため総合指数は2ヵ月ぶりに上昇しました。

[大型小売店].....冷夏・長雨の影響により前年比8.3%減

熊本県の大型小売店販売額



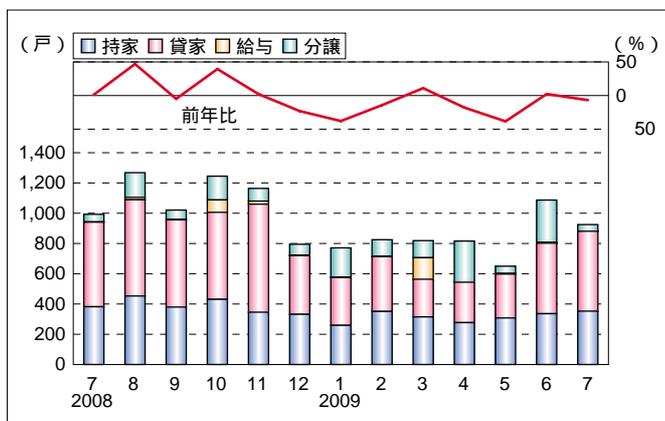
(出所)九州経済産業局

7月の県内大型小売店販売高は、雇用者所得の減少などで消費者の節約志向が強まるなか、前年比8.3%減の159億円と前年実績を下回りました。

アイテム別では、冷夏・長雨の影響で衣料品とともに飲食料品も落ち込み、全体の減少幅を広げました。

[住宅建設] 持家や分譲など低調で前年比マイナス

熊本県の新設住宅着工戸数

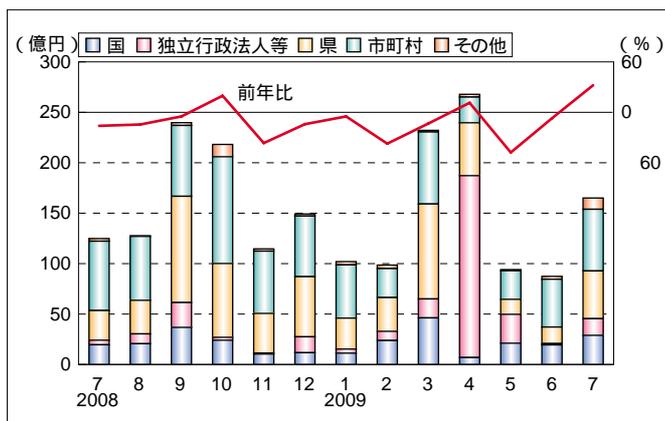


(出所) 国土交通省

7月の新設住宅着工戸数は、全体では前年比6.8%減の925戸と、2ヵ月ぶりに前年を下回りました。持家で前年比7.6%減の528戸、分譲は同14.0%減の43戸、貸家は5.5%減の528戸となりました。ただし、昨年末以来、低調だった貸家は前月比増加するなど、復調の動きもみられます。

[公共工事] 件数、請負金額ともに大幅に増加

熊本県の公共工事請負高



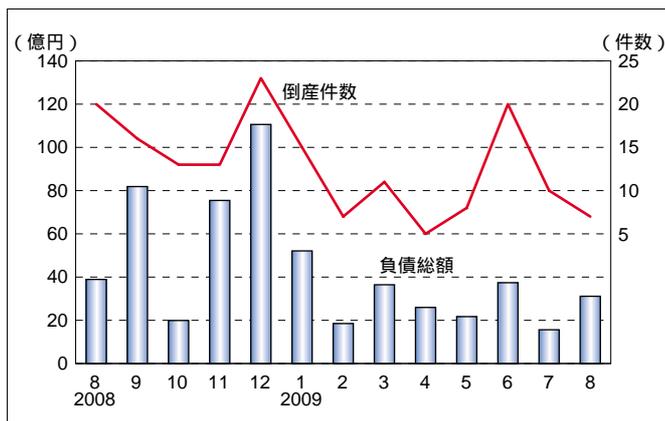
(出所) 西日本建設業保証

7月の公共工事保証請負状況(保証ベース)は、件数が前年比27.2%増の590件、金額が同32.2%増の165億円と、件数、請負金額ともに前年同月を大幅に上回りました。

発注者別の請負金額をみると、九州新幹線に加えて熊本大学病院関連の工事などで「独立行政法人等」は前年比3.6倍に急増したほか、「国」、「県」、「その他」でも積極的な発注で前年を上回りました。

[企業倒産] 件数、負債総額ともに低水準

熊本県の倒産状況



(出所) 東京商工リサーチ

7月の熊本県の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年比65.0%減の7件、負債総額が同20.0%減の31億1,200万円となりました。負債額20億円超の倒産が海運業で1件発生しましたが、それを含めても緊急融資制度の効果などにより、前年に比べて、件数、負債総額ともに低水準で推移しています。

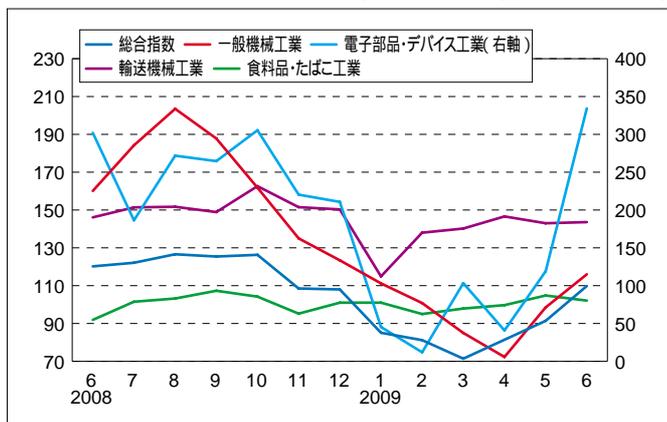
長崎県の最近の経済動向

[長崎県の景気] 生産活動の持ち直し傾向続く

生産面では、電子部品・デバイスの大幅増加などにより、鉱工業生産総合指数は3ヵ月連続で前月比プラスとなりました。大型小売店販売額は前年割れが続ぎ、住宅投資の動きは弱いものの、公共工事は県や市町の前倒し発注に加え、国からの発注増で急増し、企業倒産は低水準で推移しています。

[生産活動] 電子部品・デバイスや一般機械などが寄与し、総合指数は上昇

長崎県の鉱工業生産指数の推移(季節調整済)(2000年=100)



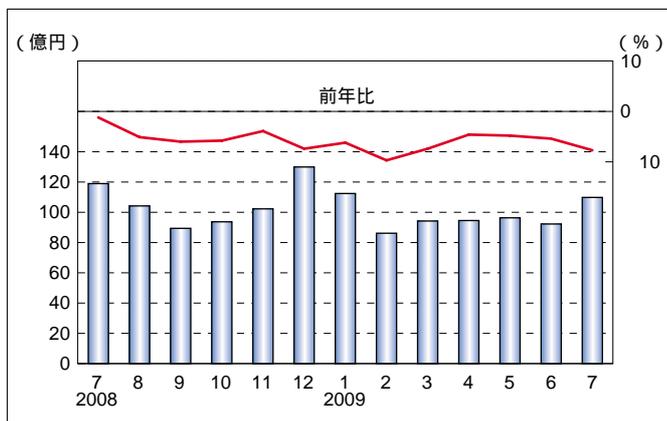
(出所)長崎県

6月の鉱工業生産指数(季節調整済)の動きを見ると、総合指数は前月比20.1%上昇し109.8となりました。

半導体やシリコンウエハの増産により電子部品・デバイスが大幅に上昇するなど、食料品・たばこを除く主要業種で上昇し、総合指数は3ヵ月連続で上昇しました。

[大型小売店] 冷夏・長雨の影響で夏物商品振るわず

長崎県の大型小売店販売額



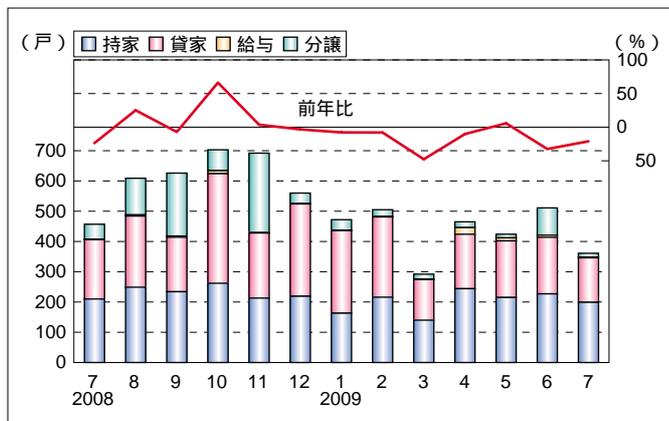
(出所)九州経済産業局

7月の県内大型小売店販売高は、消費者の節約志向に加え、冷夏・長雨の天候不順で、前年比7.6%減の110億円となりました。

アイテム別にみると、夏物衣料のほか、パラソル、UV帽子など、夏物商品の売れ行きが鈍く、全体を押し下げました。飲食料品も前年比マイナスとなりましたが、落ち込み幅は小さく、業態別で百貨店の売上は前年比9.7%減、スーパーは同6.4%減となっています。

[住宅建設] 全体的に低調で前年比21.0%減

長崎県の新設住宅着工戸数

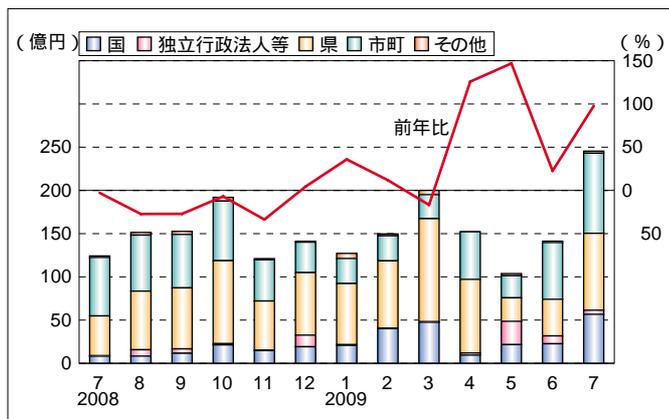


(出所) 国土交通省

7月の新設住宅着工戸数は、持家で前年比5.2%減の199戸、貸家では同25.0%減の147戸、分譲で同73.5%減の13戸となりました。全ての種類で前年比マイナスとなり、全体での実績も同21.0%減の361戸と、2ヵ月連続の減少となりました。

[公共工事] 全発注者とも大幅増加し、請負金額は前年比約2倍

長崎県の公共工事請負高



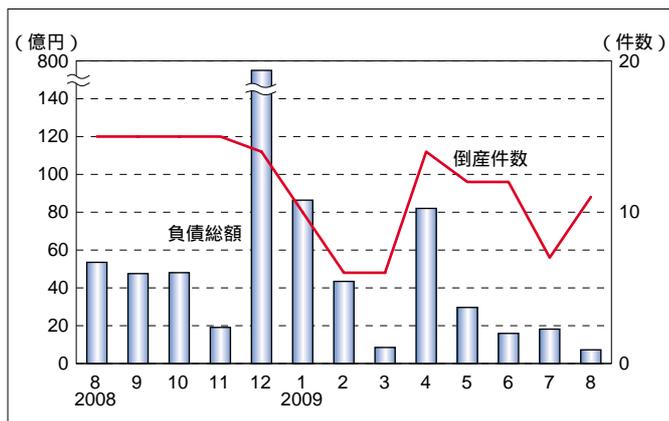
(出所) 西日本建設業保証

7月の公共工事保証請負状況(保証ベース)は、件数が前年比45.8%増の583件、金額が同97.6%増の245億円と、件数、請負金額とも前年比大幅に増加しました。

発注者別の請負金額をみると、全ての発注者において前年同月を大幅に上回りました。特に「国」では米軍関連、「県」では井持浦トンネル、「市町」では佐世保市教育センターなどの工事が発注され、請負金額は増加しました。

[企業倒産] 件数、負債総額ともに低水準で推移

長崎県の倒産状況



(出所) 東京商工リサーチ

7月の長崎県の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年比26.7%減の11件、負債総額が同86.5%減の7億2,500万円となりました。4月以降、公共工事の前倒し発注効果などもあり、件数、負債総額ともに低水準で推移しています。